

令和元年度第5回行政評価委員会（人づくり・地域づくり部会）会議録

1 開催日時

令和元年8月27日（火） 午前10時～午前11時30分

2 開催場所

花巻市生涯学園都市会館 3階第3学習室

3 出席者

(1) 委員 4名

細川祥委員（部会長）、鎌倉公順委員、伊藤蓉子委員、佐藤洋子委員

（欠席：高橋勉委員、上田直輝委員、市島宗典委員）

(2) 説明者（施策主管課及び関係課） 1名

鈴森直明スポーツ振興課長。

(3) 事務局（施策及び事務事業評価担当課） 1名

秘書政策課：瀬川千香子企画調整係長

4 議題及び報告事項

市が実施した施策評価のうち、花巻市行政評価委員会の評価対象施策である「大規模スポーツ大会の開催」について評価を行った。

(1) 施策主管課及び関係課による説明、質疑応答

(2) 委員会の評価結果集約

5 議事録

(1) 施策主管課による説明、質疑応答【主な意見・質疑等】

鎌倉公順委員：成果指標の目標値の設定根拠は。

鈴森直明スポーツ振興課長：現在詳細に関する手持ちがないが、第1期中期プラン策定の際に設定し、第2期で見直して下げたもの。

鎌倉公順委員：高い目標を掲げるのはよいことだが、市民優先の視点からは見直すことも検討してみてはどうか。また、総合体育館など各施設の利用に対するコストの状況はどうなっているのか。

鈴森直明スポーツ振興課長：スポ少や市の後援事業などで減免が多く、維持管理コストを使用料でペイできていない状況。

鎌倉公順委員：経済効果とすれば施設使用料以上の効果があると思うが。

鈴森直明スポーツ振興課長：平成29年度の経済波及効果について、はなまきスポーツコンベンションビューローでは約11億8,000万円と算出している。市内には宿泊施設が多く、そこに泊まってもらうことが重要であるため、誘致の方向としては間違っていないと思う。一方で、市民がスポーツ施設を使えないということは避けなければならない。

伊藤蓉子委員：市民の方でも総合体育館などに入ったことのない人がいるため、「花巻市には良い施設がある」ということを知らせたいと思う。

鈴森直明スポーツ振興課長：花巻市は施設までのアクセスが良く、施設の駐車場も十分にある。

佐藤洋子委員：駐車場が広い・多いがゆえに、県外から来た人などは出入り口がわかりにくいようだ。

細川祥委員：直接施設が見えるところに道路が通っていないところもある。

鎌倉公順委員：若い方はネットで調べて来るが、年配の方はわからないかもしれない。

鎌倉公順委員：未だ空調のない体育館がある。市民体育館などでは熱中症の心配があり、大規模大会誘致に問題がある。

鈴森直明スポーツ振興課長：令和2年度にインターハイが開催されるが、市民体育館には仮設の空調を入れる予定である。

鎌倉公順委員：総合体育館は全国的に有名な施設である。アクセスが良く温泉もあることから、これらを生かして誘致すべきと改めて感じる。ランクは高くないが、無料開放の陸上競技場もあるため、そちらも生かして合宿を誘致してはどうか。

伊藤蓉子委員：田瀬湖ボート場に行ったことがない市民は多いと思う。

鈴森直明スポーツ振興課長：日本代表が合宿に来るくらい日本有数の施設である。

鎌倉公順委員：合宿を見学しながら応援に行くなどの事業があってもよいのではないか。

鈴森直明スポーツ振興課長：良いことだと思うが、静かさを求めて合宿に来ている側面もある。

鈴森直明スポーツ振興課長：参加側からすると、簡単に合宿先を変えられないようだ。また、今年誘致した大学には、「関東のボート場は人工的で、狭く、暑いが、田瀬湖は自然の中にあり『ボートの原点』を感じられる」と喜んでいただいた。ボート競技は9月の大会を目指して8月に合宿することが多く、ほかの時期にずらすことは難しい。

鎌倉公順委員：総合体育館と東高校との間の田にもう1つアリーナを建設して、そこを市民専用にして利用のすみ分けを図ると良いのではないか。

佐藤洋子委員：季節に関係なく、年間を通じて利用率が高いのか。

鈴森直明スポーツ振興課長：特に土日はいっぱい状態である。

細川祥委員：特別なイベント時以外の利用時間は朝9時から夜9時だが、早朝利用できるようにすれば、市民に活用されるかもしれない。

佐藤洋子委員：「4施策を構成する事務事業一覧」に「大規模改修等実施施設数：10施設」とあるが、どのような内容か。

鈴森直明スポーツ振興課長：「スポーツ施設環境整備事業」の事業説明資料の一覧のとおりである。現在の花巻市の施設は同じような時期に建設されており、いろいろところでガタが来ているが、必要最小限の修繕としている。

(2) 委員会の評価結果集約【施策評価検証シートの整理】

- 「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか
 細川祥委員：「いわてスポーツコミッション」などについて補足説明があったが、そういった内容についてははじめからシートに記載すべきである。
 鎌倉公順委員：誘致活動の具体的な内容を記載すべきである。

- 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか
 細川祥委員：新たに取り組むべき事業が「なし」と言い切れるものか。
 鎌倉公順委員：学生が夏休み・冬休みで平日を利用できるような時期に力を入れて誘致するなどが考えられるのではないか。大会を誘致すると市民が使えない。一方で大会を誘致しないと経済効果が生まれないのは痛し痒しだが。

- 「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか
 細川祥委員：実績と目標がかい離しており、目標値の見直しが必要ではないか。
 鎌倉公順委員：目標値の根拠を示せるようにすべき。
 細川祥委員：「成果指標の測定企画」にある内訳「(1) 東北規模以上のスポーツ大会」、
 「(2) 1千人以上の入込のある県大会」、「(3) スポーツ興業やスポーツイベント」、それぞれの分析を行ってはどうか。
 鎌倉公順委員：「幾分持ち直した」と判断する要因分析・記載も必要ではないか。

- 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか
 細川祥委員：「(課題)」には「市民が施設を使えなくなることは避けたい」旨の記載があるべきではないか。また、「市民が利用する際には大変な思いをして予約をしている」現状がわかるようもう少し具体的な記載があるべき。

- 「シート記載内容全般について」
 細川祥委員：この施策だけでなく、全体的なことになるが、シートを一読しただけで内容を理解できるよう、見やすい書式、市民に分かりやすい説明の工夫が必要。
 鎌倉公順委員：現状では内部向けであって、市民向けではないと感じる。PDCAサイクルを回していることが見てわかるような工夫が必要。記載内容が言葉足らずで、補足がないと理解できない。